



「平成 25 年度全国学力・学習状況調査」の本校の結果について

例年、全国の小学校第 6 学年、中学校第 3 学年を対象に全国学力学習状況調査が行われています。調査の目的は、

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 学校における児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

です。

調査内容は、

- ① 教科に関する調査（国語、算数）
 - ・ 主として（知識）に関する問題（A）
 - ・ 主として（活用）に関する問題（B）
- ② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

です。

本校の教科に関する調査では、ここ数年、正答率が徐々に上昇しています。

国語では、漢字の読み書きはおおむね定着している傾向にあります。ことわざや接続語の使い方についてもおおむね定着している傾向にあります。条件に合わせて文章を書いたり、自分の考えを具体的に書くことについてはさらに伸ばしていきたいところです。

算数では小数・分数の四則計算、言葉や式、文字を使って解答を求めたりわけを書いて説明することが苦手な傾向にあります。

生活習慣や学習環境等に関する調査では、全国と比較してプラス傾向にある項目は「将来何かの職業や仕事について働きたいと思う。」「人の気持ちがわかる人間になりたいと思う」「友達と話し合う時、友達の話や意見を最後まで聞くことができる」「普段の授業では、友だちとの間で話し合う活動を行っている」等でした。気になるマイナス傾向にある項目は「毎日、同じくらいの時刻に寝ていない」「テレビやビデオをみる時間が長い」「家庭学習の時間が短い」「平日の家庭等での読書時間が短い」等です。

今後の対応としては、学び合いのある授業づくりをさらに推進し、コミュニケーション能力の育成に取り組んでいきたいと考えています。また、本年度はじめに配付した家庭学習の手引きを活用して家庭学習の充実を図るよう指導していきたいと考えています。

学校での教育活動の充実に向けては家庭との連携が欠かせないものとなります。今後とも保護者の皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。